

2024年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎
東京法律公務員専門学校
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和5年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

1. 2024年度 学校関係者評価委員会

<委員> (五十音順)

委員長 井野崎徹也氏 立志舎高等学校 教頭
及川 薫氏 防衛省自衛隊 東京地方協力本部 高円寺募集案内所 所長
岡島 勇太氏 アディーレ法律事務所宇都宮支店 支店長 弁護士
木寺 諒磨氏 株式会社リロググループ 人材開発室 人財採用グループ
中本 正幸氏 株式会社新聞ダイジェスト社 代表取締役
山田 悠稀氏 横浜市役所 横浜市こども青少年局 青少年部 放課後児童育成課

<事務局> (五十音順)

富 永 大 策 東京法律公務員専門学校 校長
柚 木 健 輔 東京法律専公務員門学校 教務部課長
吉 田 隆 東京法律専公務員門学校 教務部課長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

(1). 教育理念・目標

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 理念、目的、育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
ロ. 学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
ハ. 理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者等に周知 されているか	④ 3 2 1
ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向 けて方向づけられているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

開学以来「ゼミ学習」という本学独自の教育システムを導入し、これにより、明るく楽しい学園生活と、資格取得実績、公務員合格実績、民間企業就職実績が両立している。また、「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標として教職員一丸となって取り組んでいる。

④ 学校関係者評価委員会による評価・意見

(1) 教育理念・目標について「適切」であると評価できる。

「ゼミ学習は、仕事に直接的につながる効果をもつものであると実感している。ゼミ学習では、教わる側と教える側の双方の立場になる。職場でも、就職して1年目ぐらいは教わる側であるけれども、経験を積むことで教わる側から教える側になっていったりする。教える側になった場合、相手への伝わり方、伝え方を考えなければならない。ゼミ学習は、そうしたことを普段の授業を通じて身につけることができ、そのスキルはそのまま仕事にも役に立っている。学生時代にそうした経験ができたことはとても良かったと思っている。」

(2) 学校運営

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
ロ. 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
ハ. 人事、給与に関する制度は整備されているか	4 ③ 2 1
ニ. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
ヘ. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1

① 課題

昨今の雇用情勢を受け、採用計画に基づいた必要な人材を確保することが困難となっているため、待遇等の採用条件を見直す必要がある。

② 今後の改善方策

学校運営に必要な人材の確保と育成を目的としたプロジェクト委員会を令和元年度より立ち上げ、改善中である。

③ 特記事項

本学独自の教育システムである「ゼミ学習」を通じて、資格取得、就職および明るく楽しいキャンパスライフの3本柱を追求することにより「学生から信頼され支持される学校づくり」が実現している。

学校運営に必要な人材の確保と育成を目的としたプロジェクト委員会を令和元年度より立ち上げ、改

善中である。

学務システムは仮想プライベートネットワーク(VPN 網)を全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。また、全教職員にパソコンを貸与し、業務改善に取り組んでいる。

④ 学校関係者評価委員会による評価・意見

(2) . 学校運営について「適切」であると評価できる。

「ホームページは毎年確認しており、見やすくわかりやすいと思う。実績なども数字でわかりやすく示されており、見やすい色を基調としたつくりになっているため情報公開も効果的になされていると思われる。より効果的に認知してもらうためには、SNS等へのアクセスしやすいものへと変えるべきだと思う。いまはSNSがテレビと変わらないぐらいになってきているので、ホームページからSNSへの接続を工夫すべきであると考え。例えば、卒業生が活躍している様子を伝える内容のSNSにホームページからアクセスできるようにすると学校の良さを世間により認知してもらえるようになると思う。」

(3). 教育活動

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
ロ. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
ハ. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
ホ. 授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
ヘ. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
ト. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
チ. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
リ. 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

公務員、法曹、法律専門職を中心として社会の人材ニーズは、今後も常に把握していかなければならない。キャリア教育に関しては引き続き教育内容や指導方法についての検証は必要である。

② 今後の改善方策

職員の能力開発のためには、惰性に流されないよう、試験を導入するなど工夫が必要である。

③ 特記事項

例年、学生は官公庁説明会や学内就職セミナーで、希望する官公庁や企業の採用担当者から「社会が求める人材像」などの話を直接聞くことができる。

本学の授業は開学以来ゼミ学習方式を採用しており、知識をより確実にするばかりでなく、積極性、

協調性、表現力、コミュニケーション力などの人間性をも涵養している。

例年、実施する新入生就職セミナーでは、挨拶の練習、学生と社会人の違い、事例研究等を通じ、社会人に向けての意識付けをしている。

学生相談室では学生ばかりでなく、保護者からの質問や相談も受け付けている。匿名の電話にも応じて、気兼ねなく質問や相談ができる体制を組んでいる。

令和元年度より GPA 算定をするため、システムを改修し、導入した。GPA の算定については、ホームページ上にも公開している。

オンライン授業については一部実施し、Microsoft365 (Teams) および Zoom を利用した。

④ 学校関係者評価委員会による評価・意見

(3) . 教育活動について「適切」であると評価できる。

「毎年 12 月ぐらいに訪問させていただいており、不動産に関する話をさせていただいているが、挨拶がきちんとしているなど学生の態度がとても高校を卒業して半年ぐらいの者とは思えないほどである。また、ここ 3 年で 15 名ほど入社してもらっているが、全員が宅建士の資格を取得した者である。これは、数字上からもカリキュラムがしっかり整っていて、それが結果となって表れているものと考える。」

(4). 学修成果

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
イ. 就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
ロ. 資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
ハ. 退学率の低減が図られているか	④	3	2	1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

例年、新入生就職セミナーをはじめ進路決定ガイダンス、学内就職セミナーおよび官公庁説明会を行っている。学内就職セミナーには多数の企業に参加していただいている。また、官公庁説明会にも多数の官公庁に参加していただいている。

学科・コースごとに目標とする試験を明確にして過去の経験に基づき綿密なカリキュラムを組み立てゼミ学習で授業を進めている。その結果が成果となりあらわれている。また学園内各校と定期的に合格率向上のカリキュラム会議を開いている。

本学では公務員試験合格が官公庁への就職に直結していること、また、資格試験の合格率が高いこと、法科大学院に多くの学生が進学していることも非常に重要な点である。

退学者を出さないように常に担任が学生に声をかけるようにしている。学生が学校に来ることが楽し

くなるように担任が心がけている。また、ゼミ学習を通し友人を作れるように気を配っている。

担任以外にも相談できるように学生相談室を設置しており、匿名でも、電話でも相談できるようにしている。無断欠席の学生には担任から電話連絡し長期欠席の学生が出ないように努力している。

④ 学校関係者評価委員会による評価・意見

(4). 学修成果について「適切」であると評価できる。

(1)法律学科(4年制)について

「就職希望者の就職率が100%であるというところは特に評価できる。他の学科とは異なり4年間という長い期間通学するなかで、はじめはロースクールへの進学を考えていた学生が就職希望へと変わることはよくあることであり、それに対応しているところは評価できる。また、ロースクールへの進学についても司法試験の合格実績のあるロースクールに進学できているところが評価できる。4年間という長い期間通うなかで、進学と就職の両方の実績をあげられていることは、きちんと学修の成果が出せていると思われる。」

(2)法律学科(2年制)について

「国家公務員試験をはじめとして、数多くの試験で結果を出せていることは素晴らしいと思う。また、様々な官公庁への就職を成し遂げられていることも評価できる。」

(3)法律ビジネス学科について

「どの学科も100%に近い就職率がみてとれ、とても素晴らしいと思う。世間では、好景気という声もあるが、その恩恵を受けられる企業はごく一部に限られると思う。安定を誇る公務員は人気の職業であると思う。「学生から信頼され支持される学校づくり」という基本目標のもと、これからは学生一人ひとりに寄り添った指導をしていってほしい。」

(4)法律社会学科について

「どのコースについてもいえることであるが、就職率が高いところが素晴らしいと思う。また、検定の合格率の高さも評価に値する。今後もさらに高い検定合格率をめざし、多くの知識を修得させて、高い就職率を維持してほしい。」

(5)不動産ビジネス学科について

「宅建士の合格率が77.8%となっているが、全国平均が16~17%であることを考えるととても高い合格率といえる。他校とも取引があり、そこと比べても次元の異なる合格率と感ずる。それも充実したカリキュラムによる指導によるところが大きいと思われる。また、宅建士だけではなく、ファイナンシャルプランナーといった資産運用という不動産の仕事の本質にかかわる資格の指導もされていることも評価に値する。」

(6)行政学科・法律総合研究学科について

「1年間という短い期間の指導で、公務員の就職率100%を実現させているということは、大変素晴らしいことであると思う。」

(7)学修成果全般について

「就職率の向上と資格取得率の向上が資料から見て取ることができ、いずれについても成果が出ており、就職率、資格取得率の向上は常に図られているといえる。退学率の低減については、難しい問題であると感じている。日ごろから確認することはもちろんであるが、相談室や担任以外でも、たとえばスクールカウンセラーを置くことなどして対応をしてもよいのではないかと思う。高校で専門的なスクールカウンセラーを置いたところ、退学率の低減の成果が出始めているので、専門学

校でも検討してみたらよいのではないかと思う。」

(5). 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
ニ. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1
ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
ヘ. 学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
ト. 保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④ 3 2 1

① 課題

就職に関する説明会の実施に関し、より多くの人事担当者に来校してもらうように働きかける。

就職に関する学生個別相談については、よりきめ細やかな就職相談を実施していきたい。

学生からの相談に応じる専任のカウンセラーについては、現在は必要に応じて指定病院と連絡をとっている。

同窓会の組織化を検討する。卒業生に対するフォローアップ体制整備を検討する。

② 今後の改善方策

学生からの相談に応じる専任カウンセラーの導入を検討する。

③ 特記事項

保護者からの相談はクラス担任だけでなく、学生相談室や就職相談室も利用できるようになっている。学生相談室は、匿名での電話相談にも応じている。

本学の特別奨学生試験や各種特待生制度は、貸与ではなく給付である。

校舎入り口付近に消毒剤などを設置することで、各種感染症の予防を行っている。また、インフルエンザが流行する時期は、インフルエンザ等罹患状況報告書により罹患状況を把握し、感染拡大防止のための措置（学級閉鎖など）を行っている。新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止のため、校舎入口での検温および手指消毒、授業開始前の体調チェックシートによる状況把握、授業後の教室の机やイス、トイレ等の消毒を適宜行っている。

④ 学校関係者評価委員会による評価・意見

(4) . 学生支援について「適切」とであると評価できる。

「担任と学生とのつながりもそうであるが、学校全体でも学生の進路支援に取り組んでいるという姿勢が見て取れる。就職率の高さは、そうしたことの表れであると言える。学生一人ひとりにあった丁寧な対応をしているということは、入社してきた卒業生から目の当たりにしているところである。」

(6). 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1
ロ. 防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

① 課題

パソコンは5年毎に更新しているが、その他の施設・設備の更新計画は、現在立てていない。

② 今後の改善方策

教育内容のさらなる充実のため施設・設備の整備を検討する。

パソコン以外の施設・設備の更新計画を立てることを検討する。

学外実習、インターンシップ、海外研修等の教育体制・環境の整備を検討する。

危機管理マニュアルを法令に従って見直していく必要がある。

③ 特記事項

各校舎に Wi-Fi 環境を整備している。

タブレット等で問題演習（過去問題等）をできる環境（立志舎 LMS）を整備している。

④ 学校関係者評価委員会による評価・意見

(5) . 教育環境について「適切」であると評価できる。

「初期投資のコストの問題はあるかもしれないが、積極的にデジタル化は図っていくべきだと考える。司法試験もいよいよデジタル化が始まってきていて、これまで論文試験は手書きであったが、今後はワープロ打ちで回答するようなかたちで実施されることになるようである。仕事をするうえで実際に大量の書類を手書きで作成するという事はほぼないので、最低限のPCスキルやネットリテラシーなどは社会に出てから必要なものであると考える。それらを身に着けるためには、常日頃からデジタル媒体に触れていることが大切であると思う。どのような職業についても必要であると思われるので、デジタル化について積極的にすすめていくべきではないかと考える。」

(7). 学生の受け入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
イ. 学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
ハ. 学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

今後もいろいろなメディアが出現すると予想されることから、そのメディアに沿った問い合わせにも対応していきたい。

少子化傾向もあり近年募集定員を満たすことが難しいが、今後も志望者のニーズに合わせた学校運営を行っていく。

学納金については、現状は問題ないと思われるが社会状況の変化を絶えず見据えながら検討していく必要がある。

③ 特記事項

公務員試験合格者一覧においては信ぴょう性を確保するために本人の了承を得て氏名や出身校名も載せており志望者や保護者の方の判断にも役立つと思われる。

本学のホームページは、スマートフォンへの対応も行っているため、スムーズに情報が入手できる。また、LINE@、X (旧 Twitter)、Facebook、YouTube、Instagram を利用した情報提供を行っている。民間就職についても正社員採用であることにこだわって就職指導している。

オンラインによるオープンキャンパスや進路相談会を行っている。

入学選考のうちAO入学に関しては本学のアドミッションポリシーを基準として面談を行っている。本学の理解度、今後のやる気を中心に可否の判定を行っている。留学生に関しては専門の職員を置き留学生全員に筆記試験・面接試験を行い日本語能力、経費支弁能力、日本語学校の出席状況などをもとに入学選考を適正かつ公平に行っている。

本学は法人単位での財務情報の公開体制を採っており学納金が適正かつ公正に使用されていることを明らかにしている。

④ 学校関係者評価委員会による評価・意見

(6) . 学生の受け入れ募集について「適切」であると評価できる。

「民間企業の採用活動とはフェーズが異なると思う。大学全入時代のなかで学生募集をするということは、企業の採用活動とは違う問題かと思う。SNSの活用というのは、その通りであると思うが、高校生が専門学校に入学したいかどうかに関しては、1つではなくいろいろなことをやっていくなかで、すでに行っていると思うが、高校、学校との連携といった地道な関係性づくりが必要不可欠であると考え。話を聞いてもらうということが一番難しいところではあるが、そうした機会を創出していくことをしていくことが大切であると思う。」

(8). 財務

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	⑤ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。

④ 学校関係者評価委員会による評価・意見

(8). 財務について「適正」であると評価できる。

「やはり少子化はとどまることがないので、なかなか安定というのは難しいところだと思うが、続けて努力をしてもらえればと思う。ホームページで財務状況を公開しているということで、体制整備もしっかりできていると思われる。」

(9). 法令等の遵守

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
イ. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	③	2	1
ニ. 自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 課題

定期的に情報セキュリティ研修を実施する必要がある。

② 今後の改善方策

人権研修同様に外部講師を招いて情報セキュリティ研修を実施する。

③ 特記事項

法令遵守推進管理者をおき、法令遵守の推進を図っている。

例年、外部講師を招いて人権研修を実施している。今年度は、2月にオンラインで研修を受講する予定である。

学生の個人情報を利用する場合には、教職員より学生に趣旨を説明し、文書にて承諾を得た上で、個人情報を取り扱っている。

自己点検・自己評価については学校関係者評価委員会で報告し評価をいただき、その結果もホームページ上に公開している。

④ 学校関係者評価委員会による評価・意見

(9). 法令等の遵守について「適切」であると評価できる。

「法令の遵守は適切になされていると思われる。専門学校については学校教育法をはじめとする各種法令・規則のもとにあり、本委員会もそのような中にあり、また法令遵守管理者をおき、外部講師を招いての人権研修も行われているということは、学校全体で法定遵守の姿勢があると評価できる。個人情報取得についても文書にて承諾を得るなどプライバシー保護の配慮がなされているといえる。」

(10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
ロ. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1
ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等）の受託等を積極的に実施しているか	4 3 ② 1

① 課題

学校の教育資源や施設を活用した地域に対する公開講座などを実施していく必要がある。

② 今後の改善方策

学校の教育資源や施設を活用した地域に対する公開講座などを実施し、地域社会との連携をさらに強化する。

③ 特記事項

墨田区という下町に位置する学校としては、特に地域住民との交流が大切であると考えている。お祭りの参加、地元開催イベントの参加など、学生を中心とした地域交流を積極的に行っていく。例年、墨田区主催の「クリーンアップキャンペーン」や「スポーツ GOMI 拾い大会」に参加している。今年度から開催の SUMIDA BLOCK FESTIVAL にも学生が参加した。

④ 学校関係者評価委員会による評価・意見

(10). 社会貢献・地域貢献について「適切」であると評価できる。

「地域貢献とはずれるかもしれないが、4月から弊社の社員に対して宅建士の資格取得の講習を請け負ってもらおうという連携を始めている。弊社にとっても役立っているので、学生に対してだけではなく、持っているノウハウを一般にも気軽に公開できるような機会を創出すべきであると思われる。必ずニーズはあるはずなので、そのような機会を作ることで、さらなる社会貢献や地域貢献が実現できるのではないかと思う。」